

件名	平成 23 年度国民健康保険の決算状況（速報値）について				
経緯	県内 27 市町村及び 1 国民健康保険組合の平成 23 年度の国民健康保険の決算状況をまとめたものである。参考 1 国保組合 = 山梨県医師国民健康保険組合				
内容	平成 23 年度の決算状況は、次のとおり。（単位：千円）				
	区 分	平成 23 年度	対前年度増減		平成 22 年度
	歳入総額 A	96,605,936	5.3%	4,837,299	91,768,636
	歳出総額 B	94,679,143	4.2%	3,824,925	90,854,218
	歳入歳出差引（形式収支）(A-B)C	1,926,793	110.7%	1,012,374	914,419
	国庫負担金等精算額 D	1,098,367	55.6%	392,414	705,954
	実質収支 (C+D)E	828,426	297.4%	619,961	208,465
	前年度実質収支 F	208,465	-	-	659,469
	単年度収支 (E-F)G	619,961	-	1,070,964	451,004
	一般会計等からの繰入等 H	2,271,051	16.3%	441,449	2,712,499
	財政調整基金への積立金 I	154,450	8.8%	12,474	141,976
	実質単年度収支(G-H+I)J	1,496,640	50.5%	1,524,887	3,021,527
四捨五入により不一致の場合がある					
財政調整基金保有額	2,839,768	17.8%	613,935	3,453,703	
容	形式収支（歳入総額から歳出総額を差し引いた額）は、19 億 2,679 万円余の黒字となり、甲府市を除く 27 保険者が黒字であった。				
	実質単年度収支（一般会計からの法定外繰入れ、財政調整基金の取崩し・積立てなどを加減した額）は、14 億 9,664 万円余の赤字となり、赤字額は前年度と比較して 50.5%、15 億 2,488 万円改善した。実質単年度収支が黒字である保険者は 7 保険者で、前年度より 4 保険者増加した。				
	歳入総額は約 5%・歳出総額は約 4%増加				
	前年度から、歳出の 2/3 を占める保険給付費が 2.5%余増加したものの、交付金の増加等が決算額改善の要因となった。単年度収支の黒字を維持するため財政調整基金を取り崩した結果、保有額は前年度から 17.8%、6 億 1 千万円余減少した。				
保険料(税)収納率は平成 4 年度から 21 年度まで 18 年連続して前年度を下回っていたが、22 年度に 19 年ぶりに上昇に転じ、23 年度も前年実績を上回った。					

問合せ先：福祉保健部 国保援護課 国保指導担当 直通 055-223-1466 県庁内線 3263